



2020年9月18日

日本鉄道労働組合連合会

## JR東海連合 第36回定期大会

# 「グループ労組の発展」と「組合員と家族の 幸せの実現」をめざし全組合員が一丸に！

JR東海連合は、9月9日、名古屋市市内において、第36回定期大会を開催した。ソーシャルディスタンスへの配慮等を行った上で、スローガンに「安全最優先の行動・組織強化・連帯活動の充実 JR東海グループに働く労働者がONEチームで かつてない難局を乗り越え 組合員と家族の幸せを実現しよう！」を掲げ、難局を乗り越え、展望を切り拓くための意志統一を図った。



冒頭、挨拶に立った鎌田茂会長（JR連合副会長）は、「これまで経験したことのない危機に直面しているが、このような時だからこそ労働組合の存在意義が問われている。この間蓄積してきた組織力と、直面する課題に対する想像力をフルに発揮し、すべての仲間の雇用と労働環境、そして安全衛生を確保していこう。様々な職種・業態で働く仲間の連合体として、さらに一体感のある組織をめざし、『ONEチーム』で運動を積み上げていく」との決意を示した。

本大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため来賓は招聘されなかったが、JR連合をはじめ、連帯する多くの仲間からメッセージが寄せられた。

議事においては、執行部から提起された今年度の運動方針や「JR東海連合中長期目標（2015～2024）」の改訂などに対して23人の代議員から方針を補強する発言があり、執行部からの答弁、尾内裕昭事務局長の総括答弁を経て、すべての議案が満場一致で承認された。大会は、最後に鎌田会長の団結がんばろうで締めくくられた。